

青森県への灯油に関する要請行動

1. 日時 2014年11月26日(水) 午前10:00～10:30
2. 場所 青森県庁北棟5階B会議室
3. 出席者:

<生協：7名>

鳴海勝一（青森県民生協理事）・伊藤雄司（青森保健生協組織部次長）

浅利昌宏（津軽保健生協理事）・小野剛正（津軽保健生協組織部）

平野了三会長・小野寺静子常務理事・西田俊三（青森県生協連）

<県：6名>

濱谷課長・松村 GM・小野主幹・古本主事（青森県環境生活部 県民生活文化課）

櫻庭 GM・清水主事（青森県健康福祉部 健康福祉政策課）

*報道関係：NHK・東奥日報・デリー東北・陸奥新報等

4. 概要



11月26日(水)青森県生協連代表7名が県庁へ赴き灯油要請行動を行いました。冒頭、平野会長が要請の概要を説明し、県環境生活部 県民生活文化課の濱谷課長へ県知事あての要請書を手渡しました。

要請書が県に対し「低所得者への灯油購入費用の助成や、便乗値上げの監視と県民への情報提供、新しい石油行政の施策を国に働きかけることなど」を求めた事に対し、濱谷課

長は「県民の安全・安心の確保へ向け、需給や価格動向に注視しながら関係機関と連携して対応したい。国への要望は経済産業局を通じて伝える」と述べました。

その後、県生協連から「生活必需品たる灯油の高値は、年金切り下げ、食料品の値上げ、消費税アップの中で消費者の家計を圧迫している。低所得者への生活支援（福祉灯油等）実施財源を国へ要請してほしい。県単独でも実施してほしい。2009年まで開催していた灯油懇談会を復活してほしい」等の要望を出しました。

<2014年灯油要請項目 ※要請書より抜粋>

1. 青森県として、平成19年(2007年)度を実施したような低所得者に対する灯油購入費用の助成などの施策を実施してください。
2. 灯油高騰に苦しむ、低所得者、経済的弱者のための灯油代購入補助などの効果的な支援策が行えるよう、国に働きかけるとともに、財政措置がなされた際は、市町村に対しても働きかけてください。
3. 原油価格の高騰などに便乗した値上げが行われないよう、価格の動向を調査・監視し県民に対して提供して下さい。
4. 石油製品の適正価格・安定供給に責任を持つ新しい石油行政を作ること、灯油購入支援を実現する行政施策強化を国等の関係機関に対して働きかけてください。

(作成：青森県生協連)